

認知症作業療法 活動報告（概要）

鹿児島県作業療法士会では、地域リハビリテーション推進部に「認知症OTネットワークチーム」があり、2014年より28名の部員とともに認知症に関する研修会の実施や地域活動への参加などを実施してきた。2020年度の活動内容としては①認知症アップデート研修、②生協コープかごしまからの認知症対策に関する依頼、③認知症カフェ事業への県士会員の派遣を中心に活動している。

認知症OTネットワーク研修会

認知症の基礎的知識から医療現場や地域での取り組などの研修会を毎年行い、アップデート研修等を開催している。2020年度は、コロナ禍においての研修会となる為、オンラインでの研修会を実施していく。

認知症カフェ 「ほっと会」

地域包括支援センターが、在宅で認知症の方を介護されているご家族に対して、年3回悩みを共有し、助言を受ける会を開催している。この会に県士会員を派遣している。参加者は在宅生活で認知症の方を介護されているご家族、地域包括支援センター職員、認知症の人と家族の会のメンバー、鹿児島県作業療法士会員で、お互いの悩みを話し合いや助言を行う。相談内容としては、認知症の行動・心理症状(BPSD：Behavioral and Psychological Symptoms of Dementia)に対する対応や接し方、薬剤に対する質問、今後どのような介護サービスを利用したら良いか等に対して、作業療法士の視点で助言をしている。

COVID-19（新型コロナウイルス）の影響・対応など

県くらし保健福祉高齢者いきいき推進課の政策助成で、地域で行われている集まりが停滞している状況に対して、テレビを利用した認知症予防の配信を行えた。内容としては、鹿児島大学医歯学域医学系医学部保健学科吉満孝二先生により、コグニサイズの紹介を行った。この内容はテレビを通して放送され、「鹿児島県 コロナ 体操」で検索すると、動画を紹介する県のホームページで閲覧できるようになっている。

生協コープかごしまへの協力事業

生協コープかごしまと「認知症に負けない暮らし（健康）づくり」を鹿児島大学保健学科と鹿児島県作業療法士協会が提携し取り組みを行っている。

鹿児島大学 医歯学域医学系 医学部 保健学科田平隆行先生を中心に、認知症OTネットワーク員で具体的な生活術を冊子にした「くらしのあれこれヒント集」を作成し、講座を実施している。



今後の展開

- ・ 県士会として委託事業が受けられるように活動を継続する。
- ・ 継続したアップデート研修